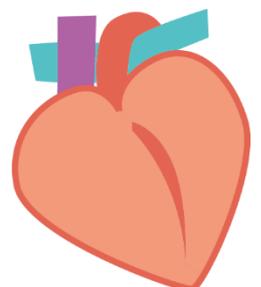




# 確認ドリル（循環器）

- ① 心臓は**（腹腔・縦隔・後腹膜腔）**にある。
- ② 右心房は**（上大静脈・大動脈・肺静脈・肺動脈）**が開口している。
- ③ 左心房と左心室の間には**（三尖弁・僧帽弁・大動脈弁・肺動脈弁）**がある。
- ④ 卵円窩は**（心房中隔・心室中隔）**にある。
- ⑤ 大動脈の根本から**（2本・3本・4本）**の冠状動脈が枝分かれする。
- ⑥ 心筋は**（随意筋・平滑筋・横紋筋）**である。
- ⑦ 刺激伝導系の始まりは**（洞結節・ヒス束・房室結節）**である。
- ⑧ ペースメーカーの役割を果たすのは**（洞結節・ヒス束・房室結節）**である。
- ⑨ 心臓の拍動は成人では平均**（30回/分・70回/分・110回/分）**である。
- ⑩ 1回心拍出量はおよそ**（30mL・60mL・90mL）**である。
- ⑪ 心房収縮期から等容性収縮期の間で**（房室弁・動脈弁）**が閉鎖する。
- ⑫ 駆出期とは**（心房・心室）**の収縮により血液が駆出されることを示す。
- ⑬ 充満期の始めに**（房室弁・動脈弁）**が開放する。
- ⑭ 房室弁が閉鎖する音は心音の**（Ⅰ音・Ⅱ音・Ⅲ音）**である。
- ⑮ 動脈は静脈と比べて**（内膜・中膜・外膜）**がとくに厚い。
- ⑯ 内膜は**（単層扁平上皮・重層扁平上皮・多列線毛上皮）**の内皮細胞に覆われている。
- ⑰ 中膜はおもに**（骨格筋・平滑筋・心筋）**で構成される。
- ⑱ 心臓に近い太い動脈は**（細動脈・筋性動脈・弾性動脈）**でできている。
- ⑲ 静脈には逆流防止のための**（弁・線毛・細胞壁）**がみられる。
- ⑳ 一般的に静脈とは**（末梢から中枢・中枢から末梢）**へと血液が流れている。





## 確認ドリル (循環②)

- ① 体循環では左心室⇒大動脈⇒組織⇒大静脈⇒(左心房・右心房・右心室)へと循環する。
- ② 大動脈に流れる血液は(動脈血・静脈血)である。
- ③ 肺動脈に流れる血液は(動脈血・静脈血)である。
- ④ ノルアドレナリンは心拍数を(増加・減少)させる。
- ⑤ ノルアドレナリンは心収縮力を(増加・減少)させる。
- ⑥ ノルアドレナリンは血管を(収縮・拡張)させる。
- ⑦ アセチルコリンは心拍数を(増加・減少)させる。
- ⑧ 心臓に分布する副交感神経は(三叉神経・迷走神経・副神経)である。
- ⑨ アドレナリン $\alpha$ 受容体はおもに(血管・心臓)への作用を示す。
- ⑩ アドレナリン $\beta_1$ 受容体はおもに(血管・心臓)への作用を示す。
- ⑪ アンジオテンシンIIは血管を(収縮・拡張)させる。
- ⑫ アルドステロンは(Na-K)の再吸収を促進するはたらきがある。
- ⑬ 循環血液量が増加すると血圧は(上昇・低下)する。
- ⑭ バソプレシンは循環血液量の(増加・減少)によって分泌が促進される。
- ⑮ 循環血液量は心臓の(前負荷・後負荷)に相当する。
- ⑯ 末梢血管抵抗は心臓の(前負荷・後負荷)に相当する。
- ⑰ 心電図でP波は(心房の興奮・心室の興奮・心房の回復・心室の回復)を表す。
- ⑱ 心電図でR-R間隔によって(収縮期血圧・心拍数・心拍出量)を算出することができる。
- ⑲ 心電図でQRS波とT波の間で心音の(I音・II音)が聴取される。
- ⑳ 心電図で虚血性心疾患で特徴的に変化がみられるのは(PQ-ST-QT)である。

